

<第2次総合計画進行管理表>

施策評価表

作成日 令和5年6月23日（金）

1. 基本事項

施策		移住定住の推進	期間	令和5年～令和9年	施策担当部課名	企画財政部 企画課	
総合計画	大項目	6	目的・対象	移住・定住の推進に取り組むことで、市内外の人が魅力を感じ、住んでみたい、住み続けたいと思えるまちを目指します。			
	中項目	2					将来に向けた持続可能なまちづくり
	小項目	1					移住定住の推進
	主要プロジェクト	3					「ふかや」の魅力を生かした移住定住推進プロジェクト
重要度・満足度	-		施策推進のための主な取組	子育て世代の移住を促進し、深谷市がその選択肢のひとつとなるよう、移住希望者のニーズ把握を行うとともに、移住後に場所を選ばず仕事ができる・続けるための支援や、移住希望者に寄り添う相談、関係団体との連携・協力、きめ細やかな支援体制の構築に取り組めます。			
施策を取り巻く社会状況等	東京圏への一極集中の傾向が継続し、若年層を中心として地方から東京圏への人口流出などにより生産年齢人口（15～64歳）が減少しています。一方で近年、ICT技術の進展などにより、働く場所や居住地の自由度が拡大しました。						

2. 評価指標

上段は目標値（令和4年度は前期基本計画に基づく目標値、令和5年度以降は後期基本計画に基づく目標値）、下段は実績値

区分	指標名（上段） 算出式・説明（下段）	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
			総人口（ベース推計、ベース推計と比較した上昇数）	人	-	141,677.00	141,364.00	141,146.00
深谷市人口ビジョン			141,343.00					
深谷市にずっと住み続けたいと思う市民の割合	%		-	67.60	69.10	70.60	72.10	73.60
深谷市民まちづくりアンケート			68.00					
深谷市の市政に関心を持っている市民の割合	%		70.00	-	-	-	-	-
深谷市民まちづくりアンケート			67.40	-	-	-	-	-
埼玉県内における深谷市の魅力度	位		5.00	-	-	-	-	-
地域ブランド調査（株式会社ブランド総合研究所）			10.00	-	-	-	-	-

3. 一次評価（今後の施策の方向性）

区分	拡充	1. 現状維持	2. 拡充	3. 縮小
深谷市にずっと住み続けたいと思う市民の割合は68.0%であり、令和5年度の目標値を2.4ポイント上回る結果となった。また、令和5年度は、総合計画後期基本計画の始期であり、同計画内では、まちづくりの課題の一つとして人口減少の抑制が掲げられておりこの課題解決のため、『「ふかや」の魅力を生かした移住定住推進プロジェクト』を主要プロジェクトのひとつとして位置付けている。このことから、今後さらに、市民のニーズを捉えた様々な取り組みや移住希望者のニーズを把握した移住施策を実施することにより、子育て世帯を中心とした転入及び転出抑制に取り組んでいく必要がある。				
			評価者	企画課長 福島 正孝

4. 改善改革プラン（3. 一次評価を受けての具体的な解決策）

区分	具体的な対応策等
<input checked="" type="checkbox"/> 既存事業の拡充	市外の移住希望者に対し令和5年度にスタートした移住支援金をはじめとした様々な支援策の情報を関係部署と連携しながら発信し、深谷市が移住の検討先のひとつとなるよう周知を実施していく。また、効果的、効率的に事業を推進するため、業務の外部委託などの事業の実施体制を検討していく。
<input type="checkbox"/> 事業の新規立案	
<input type="checkbox"/> 事業の廃止・縮小	
<input type="checkbox"/> 事務事業の再編	
<input type="checkbox"/> その他	

5. 二次評価（所属長の見解）

後期基本計画では、人口減少対策として移住定住の推進を掲げた。「移住定住」に向けた取組について、まずは、関係部署と連携しながら、深谷市の強みや魅力を市内外に向けて効果的に情報発信していくことを重点的に行うとともに、移住支援策などの直接的な誘導策を併せて行う必要がある。また、効果検証を重ねながら移住支援策を改善し、実施に当たっては業務委託を検討するなど、運営体制の効率化も進めていく。	
所属長	企画財政部長 荻野 昌利